

# ● プロップ・ステーション後援会 会則

## プロップ・ステーション後援会 会則

- (名称) 第1条 この会は、プロップ・ステーション後援会と称します。
- (事務局) 第2条 この会の事務局は、兵庫県神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート6E-13プロップ神戸 ネットワークセンター内に置きます。
- (組織) 第3条 この会は、第4条の目的に賛同し、協力する人たちが組織します。
- (目的) 第4条 この会の目的は、チャレンジド(障害を持つ人)の自立を支援する社会福祉法人プロップ・ステーションの行う、社会福祉事業、公益事業および、各種の事業の利用者であるチャレンジドに対して、その事業の推進を援助することを目的とします。
- (活動内容) 第5条 この会は、第4条の目的達成のため、次の活動を行います。  
 (1) 募金活動  
 (2) ボランティア活動  
 (3) 物資の斡旋  
 (4) 機関紙の発行  
 (5) その他目的達成に必要な事業

- (会員) 第6条 第4条の目的に賛同する個人、法人及び団体は、この会の会員になることができます。  
 2 会員の種類は、個人会員と法人及び団体会員の2種類とし、次の会費を納めるものとします。  
 個人会員 年会費 1口 10,000円  
 但しチャレンジド会員は5,000円  
 法人及び団体会員 年会費 1口 50,000円
- (役員) 第7条 この会の適切な運営を行うため、次の役員を置きます。  
 (1) 会長 1名  
 (2) 副会長 1名  
 (3) 会計 1名  
 (4) 会計監査 1名
- (役員会) 第8条 後援会の会長及び役員は役員会を構成し、本会の運営をつかさどります。  
 役員会は年に1回開催します。  
 2 役員会は、本会の最高議決機関とします。
- (役員の任期) 第9条 役員の任期は2年とし、再任を妨げません。
- (会計年度) 第10条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とします。
- (会計及び事業実施の報告) 第11条 この会の収支報告と事業の実施状況及び役員会報告は、この会が発行する機関誌において会員に報告します。

# ● 社会福祉法人への寄付について

## 個人=寄付金控除、法人=法人税法上損金算入が出来ます。

- 寄付をした個人は確定申告によって、次の限度内で所得税法上の寄付金控除が受けられます。  
 <寄付金額とその年の所得金額(総所得金額、退職所得金額、及び山林所得金額の合計額)の25%の、いずれか低い方の金額> - <1万円>  
 \* 仮に、その年分の所得が400万円の人が100万円を社会福祉法人に寄付した場合、99万円の寄付金控除が受けられます。
- 寄付をした法人は、確定申告によって次の限度内で法人税法上損金算入が出来ます。  
 1) 一般損金限度額(法人税法第37条第2項該当)  

$$\text{資本等の金額} \times 2.5/1000 \times \text{事業年度の月数}/12 + \text{当該事業年度の所得金額} \times 2.5/100 \times 1/2$$
 上記の一般損金限度額は、社会福祉事業を含めるあらゆる寄付について損金算入が認められている限度額です。(この限度内であれば、任意団体、NPO法人への寄付も損金算入されます。)  
 2) 社会福祉法人等に対する寄付金の特別損金限度額(法人税法第37条第3項第3号該当)  
 社会福祉法人、学校法人及び試験研究法人等に対する寄付金は、その合計額について、上記 1) の一般損金算入限度額のほかに、これと同額を別枠で損金算入することが出来ます。この場合には、確定申告書に法人税法第37条第3項第3号の規定による損金算入を行った旨を記載した法人税法施行規則別表第12の「寄付金の損金算入、試験研究法人等に対する寄付金及び指定寄付金に関する明細書」(用紙は税務署にあります)を添付して下さい。  
 3) 上記 1) と 2) の限度額は併用することができます。したがって、仮に資本金10億円、当該事業年度の所得3億円の1年決算の会社が、社会福祉法人のみに寄付した場合は、1)及び2)の限度額はそれぞれ500万円ですから、合計1000万円までの寄付について損金算入をすることができます。  
 なお、法人は会計経理において必ず損金経理を実施して下さい。

プロップ・ステーション後援会 事務局

本 部：神戸市東灘区向洋町中6-9神戸ファッションマート6E-13  
 プロップ・神戸ネットワークセンター内 (TEL078-845-2263)

東京事務所：東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー34階 私書箱30号  
 プロシード内 (TEL03-3401-6786 担当：栗林、奈良)

# 竹中 ナミ プロフィール

氏名 竹中 ナミ (社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長)  
ニックネーム ナミねえ  
生年月日 1948年10月8日 (神戸市生まれ)  
学歴 中卒 (神戸市立本山中学校卒)  
ホームページ <http://www.prop.or.jp/> E-mail [nami@prop.or.jp](mailto:nami@prop.or.jp)

## 活動歴

重症心身障害児の長女(現在31才)を授かったことから、日々の療育のかたわら障害児医療・福祉・教育について独学し、challenged(障害を持つ人達)の自立と社会参加を目指して、活動を続けてきました。

\*手話通訳 \*視覚障害者のガイド \*重度身体障害者施設での介助・介護 \*おもちゃライブラリーの運営

\*痴呆症の方のデイケア \*障害者自立支援組織メインストリーム協会事務局長

などのボランティア活動を経て、1991年5月兵庫県内にてプロップ・ステーション準備会を設立。翌92年4月、大阪ボランティア協会内に事務局を移転し、代表に就任。7年間任意団体として活動を続け、'98年9月、厚生大臣認可の社会福祉法人格を取得、本部を神戸市内に置き、理事長に選任されました。長女は現在、兵庫県小野市にある国立療養所青野ヶ原病院の重症棟に入院しており、病棟の皆さんの温かい看護を受けて過ごしています。私は病棟の皆さんはじめ、支援を下さる多くの方々に感謝しつつ、プロップの活動に励む毎日です。

## 委員、講師など

衆議院：予算委員会 公聴会 公述人(2004年2月26日)

参議院：国民生活・経済の調査会 参考人(2004年3月10日)

総務省：地上デジタル放送推進に関する検討委員(2004年2月就任)

21世紀臨調(新しい日本をつくる国民会議)：生活者起点推進会議運営委員  
(2003年9月就任)

総務省：情報通信審議会委員(2003年1月就任)

財務省：財政制度審議会専門委員(2001年1月就任)

厚生労働省：障害者(児)の地域生活支援の在り方に関する検討委員会委員  
(2003年5月就任)

総務省：ユビキタス社会における住民サービスの高度化・多様化に関する懇談会  
(2002年11月就任)

経済産業省：サービス産業フォーラム委員(2002年12月就任)

厚生労働省：障害者の在宅就業に関する研究会(2002年8月就任)

内閣府：新しい障害者基本計画に関する懇談会委員(2002年5月就任)

内閣府：経済財政諮問会議 経済活性化戦略会合講師(2002年2月)

女性議員政策提言協議会：ユニバーサル社会の形成促進プロジェクト・チーム講師  
(2002年2月就任)

e-japan重点計画特命委員会：チャレンジドを納税者にできるIT立国日本 講師  
(2002年3月)

文部科学省：特別支援教育の在り方に関する調査研究会委員  
(2001年12月就任)

☆1995年より、チャレンジド・ジャパン・フォーラム(CJF)主宰

## 著述

飛鳥新社「ラッキーウーマン～マイナスこそプラス種」2003年4月発行

筑摩書房「プロップ・ステーションの挑戦」1998年8月発行

(平成11年テレコム社会科学賞受賞)

JapanTimes「プロップ・ステーションの挑戦」英訳版「Let's be proud!」2000年8月発行

(2002年度 大修館発行 高校3年生用英語教科書に採用)

集英社漫画文庫YOU「20世紀を彩った女たち」2001年1月発行 に取り上げられる

朝日新聞(日曜朝刊)オピニオン「時流時論」2003年4月より連載中

神戸新聞コラム「随想」2003年4月から連載中

月刊SOHOドメイン (月刊SOHOコンピューティング)

「ナミねえの道」2002年5月号より連載中

産経新聞コラム「from」2002年5月より連載中

ぎょうせい株式会社「ガバナンス」にて、2001年10月より1年間オピニオン連載

中央公論社「居心地のよい国ニッポン」2000年3月発行(共著 川勝平太、巖信彦 編)

日本経済出版社「志の開拓者たちよ!」2001年1月

(共著 自由の森大学・筑紫哲也、福岡政行 編)

(財)都市問題研究所 「都市政策」2001年2月発行

婦人公論1996年12月号「障害者が働くということ」

(月刊)インターネットアスキー「インターネットとチャレンジド」13回連載

プロップの機関誌「flanker」(フランカー)にて、毎月オピニオンを発表

ほか多数

国土交通省：これから10年後の暮らしを語る懇談会委員(2001年1月就任)

国土交通省近畿地方整備局：近畿のみちを考える懇談会委員

(2002年4月就任)

人事院近畿事務局：上級係員研修会講師(2002年1月/12月)

京都府：電子府庁推進評価委員(2004年7月就任)

大阪市：都市経営諮問会議委員(2004年5月就任)

兵庫県：IT戦略推進会議委員(2003年5月就任)

大阪府：IT推進懇話会委員(2003年4月就任)

和歌山県：わかやまアドバイザー会議委員(2003年4月就任)

神戸市：こうべユニバーサルデザイン推進会議委員(2003年4月就任)

岐阜県：IT戦略顧問(2002年7月就任)

神戸市：「新たなビジョン懇話会」委員(2004年4月就任)

三重県：障害者在宅就業支援策「e-ふぉーらむ」アドバイザー

(2002年8月就任)

神戸市：神戸市立中央市民病院 倫理委員(2001年4月就任)

神戸市：神戸市立中央市民病院の今後のあり方に関する検討委員

(2002年2月就任)

兵庫県：生涯教育情報ネットワーク委員会委員

(1998/99/2000/2001/2002/2003年度)

神戸学院大学客員教授(2003年4月就任)

## 映像

写真集「チャレンジド～ナミねえとプロップな仲間たち」(撮影：牧田清さん)吉本興業より発行

今村昌平監修 ドキュメンタリー「チャレンジド」(文部省選定) 98年10月ビデオ版販売開始

フジTV「アンビリバボー」にてナミねえ特集「ラッキーウーマン」2003年8月28日放映

MBSドキュメンタリー番組「映像 '03」にて「ナミねえ&プロップ特集」2003年10月19日放映

MBS「PORTRAITS」でナミねえ映像紹介 2003年9月26日放映

TBS報道特集ドキュメンタリー「障害者を納税者に」1996年6月放映

TBS「ニュース23」にて 筑紫哲也さんと対論 1999年11月放映

NHK「ニュースパークかんさい」にて活動紹介 2001年1月放映

ABC「NEWSゆう」にて活動紹介 2001年2月放映

NHK BSフォーラム

「知事達がかたるバリアフリー社会 ～21世紀・日本は地域から変わる～」にて

パネリスト：北川三重県知事、増田岩手県知事、堂本千葉県知事、潮谷熊本県知事

コーディネータ：竹中ナミ 2001年12月29日放映

NHK教育TV「人間ゆうゆう 2002年わたしの提言」2002年1月8日放映

NHK教育TV「みんなで考える・みんなの公共事業」2003年2月22日放映

ほか多数

## 受賞

著書「プロップ・ステーションの挑戦」平成11年度テレコム社会科学賞受賞

エイボン女性年度賞 教育賞受賞 (1999年10月27日)

神戸市市民福祉顕彰 奨励賞(2001年9月4日)(社福)プロップ・ステーションとして受賞

日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2002」ネット部門受賞(2001年12月)

平成14年度 情報化月間記念式典 総務大臣賞 個人表彰受賞(2002年10月1日)

平成16年度 神戸新聞 社会賞受賞(2004年5月3日)

(社福)プロップ・ステーションとして受賞